

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年10月5日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年10月5日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【地下水バイパス揚水受タンク(A)の溢水について】 当直員が、地下水バイパス設備(Aエリア)の電気品点検を終了し、電源を復旧したところ、警報「揚水受タンク(A)水位高高」発生を確認。 現場確認した結果、揚水受タンク(A)よりタンク水が溢水していることを確認。 揚水受タンク(A)移送ポンプの自動運転を開始し、溢水の停止および警報「揚水受タンク(A)水位高高」クリアを確認。 移送ポンプ(B)を起動すると揚水受タンク(A)の水位が上昇したことより、移送ポンプ(A)の出口側にある逆止弁(2個)にシート漏えいがあり、揚水受タンク(B)の水がまわり込んだものと推定。 今後、当該逆止弁点検を実施するとともに、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	9月30日
2	<p>【海生物処理建屋の前処理建屋南側資機材仮置き場所の消火器未設置について】 海生物処理建屋の前処理建屋南側資機材仮置き場所に仮置き表示上「消火器」の設置記載があるにもかかわらず、消火器が設置されていないことを原子力保安検査官が確認。 協力企業作業員が消火器の設置を失念したと推定。 協力企業作業員にて当該箇所に消火器を設置済み。 今後、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	10月1日